

連続する悪質な 列車妨害を許すな!!

昨日までのマスコミ報道でも大きく取り上げられているように、JR東日本管内で悪質な列車妨害が相次いで発生しています。私たちは悪質な列車妨害を許しません!

仙台地本管内でも例外ではなく、これまで労使で築き上げてきた「安全な鉄道」を阻害する事象が発生している事に危機感を抱かざるを得ません。不審な事象や列車妨害などはすぐに分会や支部、仙台地本までお知らせ下さい!! 2018年5月30日 毎日新聞から引用



- JR東日本管内で
確認された主なトラブル
- 4月9日 岩手県・一ノ関-盛岡間
東北線線路内に塩ビ製パイプ①
 - 11日 長野県・川中島駅
信越線線路内にベニヤ板②
 - 12日 福島県郡山市
無人車両が動き、別の車両に衝突③
 - 17日 千葉県成田市
成田線線路内にトタン板④
 - 埼玉県・南古谷駅
川越線線路内に工事用ポール⑤
 - 19、24日 神奈川県・新子安駅
駅内トイレにトイレトペーパーの燃えかす⑥
 - 21日 栃木県・小山駅
ホームの発車ベルが盗まれる⑦
 - 5月1日 東海道線の車両
乗員室扉に約10カ所のへこみ
 - 12日 埼玉県川口市
宇都宮線列車と線路内に放置された自転車接触⑧

JR東日本管内のほぼ全域で、線路上に自転車や乗務員が投げ込まれたり、無人の車両が突然動き出したりするトラブルが今年3月以降、約350件相次いでいることが同社への取材で明らかになった。外部からの侵入が難しい乗務員室内の設備が壊されていたケースもあった。重大な事故につながりかねない事象もあり、JR東は一部について警察に被害届を提出。防犯カメラを増設するなどして警戒を強化している。

JR東が警戒強化

JR東によると、2月ごろからトラブルが目立ち始め、3月に約50件、4月に約150件、5月は下旬までに約150件が確認された。担当者は「警戒を強めた結果、故意か偶然か分からないケースも報告されるようになり、頻発している印象になった面もある」と説明する。

4月12日午後8時半ごろには、福島県郡山市の郡山総合車両センターに停車していた無人の車両が突然動き出し、約500人が先に止まっていたデ

4月25日、内房線の車両内トイレで、清掃係員がトイレトペーパーの燃えかすを発見。5月12日午後8時ごろには埼玉県川口市の宇都宮線で、線路上に置かれた自転車と普通電車が接触する事故も起きた。自転車は現場付近の陸橋から投げ込まれた可能性がある。いずれの事象もけが人はなかったが、JR東は列車往来妨害事件などの疑いがあるとして、これら3件などについて警察に被害届を出した。

他にも線路内で障害物が見つかったケースが約10件あった。また車両の乗務員室の扉の内側が硬い物でたたかれたようなへこみが、首都圏の路線を中心に約50件見つかっている。JR東は6月4日、対策会議を開き、各地の鉄道警察隊との連携と警戒強化を図る。

列車妨害疑い350件 車輪止め外され「暴走」／線路に自転車

全組合員で警戒しよう!
不審な事象や列車妨害が発生した場合は
分会・支部・仙台地本まで連絡を!!